



(出席者)

福田豊万  
和田孝明・幸子  
田中 実  
新井 博  
伊東總吉  
堀 良慶  
水口英男  
野口 勉  
野原 宏  
小松富士男  
鈴木忠男  
福井 豊  
伊藤英一  
畝 一雄  
阿部真也  
小林美希  
宇都宮義文  
井澤尚子

(順不同・敬称略)

あーと・わの会 ( 通称 「わの会」 )

## 第57回放談会

日時 2020年 1月26日(日) 13時～17時  
場所 TKP池袋カンファレンスセンター  
出席者 (計19名)



## 第57回放談会(発表順)

出品者 福田豊万さん

作家名	生井 巖
作品名	「拾みある記」
材料・技法	和紙・ボールペン
制作年	2019年8月吉日
サイズ	名刺サイズ



### コメント

40才頃銀座の養清堂で個展をしていた頃ある時日本画家の小松均から家に来る様にと連絡があり、それを機に3年間に弟子に入った事があるとの事。  
今年80歳になり、足が少し悪いが元気に絵を描いておられます。



作家略歴 生井 巖 (なまい・いわお/1941年～) 東京生れ。1958年松本英峰に師事。創造美術会員。80年養清堂画廊個展。小松均に師事。88年ギャラリーおかりや個展。89年、ギャラリーシャローム個展。96年千種画廊個展。97年竹屋画廊(鎌倉)個展。98年煉瓦画廊個展。2014年ギャラリーKANI個展。洋画家

出品者 和田孝明・幸子さん

作家名	川上 澄生
作品名	燭台と婦人
材料・技法	ガラス絵
制作年	不詳
サイズ	13.7×8.7cm

コメント 澄生は、独特の文明開化趣味や南蛮紅毛趣味の作品で知られる版画家であるが、絵本、ガラス絵、肉筆画も残している。



作家略歴 川上澄生 (かわかみ・すみお/1895～1972年) 横浜市生れ。青山学院高等科卒。1921年宇都宮中英語教師。木版画を始める。27年自作木版画集「青髭」を刊行。恩地孝四郎らと自画、自刻、自摺の創作版画を提唱。版画集「文明開化の往来」、詩画集「ぬげれすいろは」「とらんぶ絵」。28年日本創作版画協会会員、31年日本版画協会創立会員。43年国画会会員。49年栃木県文化功労賞。宇都宮市で没、77歳。92年鹿沼市川上澄生美術館が開館。版画家

出品者 田中 実さん



作家名	脇田 和
作品名	「サモアと鳩」
材料・技法	キャンバス・油彩
制作年	1985年
サイズ	F6号

作家略歴 脇田 和（わきた・かず/1908～2005年）東京に生れ。1923年渡欧。25～30年ベルリン国立美術学校卒。光風会会友。36年新制作派協会を結成、会員となる。55年日本国際美術展最優秀賞。7

0年東京藝術大学教授を退官。98年文化功労者。東京で没、97歳。（出典 わ眼）洋画家、美術教育

出品者 新井 博さん



作家名	脇田 和
作品名	「鳥の住い」
材料・技法	ガラス絵
制作年	1980年代
サイズ	18.0×12.5cm

コメント 「鳥の住い」は色のコントラスト、透明感が絶妙で、ガラス絵としては珍しく手の混んだ脇田さんらしい洒落た作品です。

作家略歴 脇田 和（わきた・かず/1908～2005年）東京に生れ。1923年渡欧。25～30年ベルリン国立美術学校卒。光風会会友。36年新制作派協会を結成、会員となる。55年日本国際美術展最優秀賞。7

0年東京藝術大学教授を退官。98年文化功労者。東京で没、97歳。（出典 わ眼）洋画家、美術教育

出品者 伊東總吉さん



作家名	堀井英男
作品名	「magic room (83-1)2/30」
材料・技法	エッチング、アクアチント2版3色
制作年	1983年
サイズ	58 × 42.5cm

コメント '84(昭和59)50歳(作者)  
本作は日本版画協会第52回展(都美術館)  
に出品される。  
また、堀井英男銅版画展が銀座・養清堂画  
廊で開催され<magic room83>連作など新  
作11点、詩画集「幻花」(版画10点)が出品  
される。  
新潟市立美術館('84買上げ)  
大分近代美術館('86買上げ)

作家略歴 堀井英男 (ほりい・ひでお/1934～1994年) 茨城県生れ。潮来高等学校卒。1946～56年文化財保護委員会に勤務。60年東京芸術大学油画科卒。大学院中退。独学で銅版画を習得する。1967年日本版画協会賞。68年同会会員、東京国際版画ビエンナーレ招待出品。72、73、78、83年詩画集刊行。76年創形美術学校版画科主任。91年創形美術学校校長。78年銀座・松坂屋で個展。東京で没、60歳。(出典 わ眼) 版画家

出品者 堀 良慶 さん

作家名	木原千春
作品名	「スフィンクス」
材料・技法	紙、鉛筆、色鉛筆、マジックインキ
制作年	2019年
サイズ	29.5 × 21.5cm



コメント ある作家の企画展開催中、作家は私の企画展より、木原千春の作品を求めなさい！と指示、拝見させていただきました。凄かった絵に力が漲っていました。ファンとなり、初期の油彩タブロー15点、デッサン19点を収集。

作家略歴 木原千春 (きはら・ちはる/1979年～) 山口県生れ。2001年 Gallery Kitamura/企画: 舟越桂、個展。04年、05年柏わたくし美術館、神戸わたくし美術館で個展、06年「VOCA2006」上野の森美術館、09年山口県美術展覧会 佳作、09年前橋アートコンペライブ2009 グランプリ、10年「木原千春展」池袋西武、11年「木原千春展」現代HEIGHTS Gallery DEN。12年よりロイドワークスギャラリーで毎年個展「Vitalism」開催。18年神戸わたくし美術館で個展。洋画家

出品者 水口英男さん



作家名	高木 倶
作品名	不詳(西洋婦人)
材料・技法	ボード・色鉛筆
制作年	2014年
サイズ	17×13cm

コメント 作者は昔中東各国を旅した経験から、中東の戦禍に終わりがなく憂をいだいていました。そんな中、アラビアのロレンスのような救世主に願いをこめたようです。この作品は作者の絶筆となりました。

時空を越えた美を求めて

### 高木倶追悼展

平成28年10月4日(火)～10月27日(木)

高木倶は昭和11年11月11日、群馬県利根郡高木町で多くの人の目に留まるほどの才能を有して誕生した。画壇は異色を放ち、戦時下の苦悶を表現した。戦後、平和を求め、自然の美を追求し、独自の表現スタイルを確立した。その芸術的探求は、現代美術界に大きな影響を与えている。この展覧会は、高木倶の芸術的探求の軌跡を辿り、その精神を後世に伝えることを目的とする。展覧会期間中は、高木倶の代表作を展示し、その魅力を伝えるとともに、高木倶の芸術的探求の軌跡を辿り、その精神を後世に伝えることを目的とする。

■展覧会期間：10月4日(火)～10月27日(木)

■会場：高木倶美術館

■入場料：大人1000円、小人500円

■主催：高木倶美術館

■協賛：高木倶美術館

■お問い合わせ：0278-22-1111

■ウェブサイト：www.takagi-tomo.com

作家略歴 高木 倶 (たかぎ・とも/1924～2016年) 東京生まれ。多摩造形芸術専門学校中退。1949年より沼津に住む。58年より個展、グループ展多数。62年～75年アルミレリーフ及び壁画制作。81年アジア現代作家展招待(バーレーン王国)。2016年没、92歳。洋画家

出品者 野口 勉 さん



作品名	「コガモとタゲリ」
制作年	2009年
サイズ	43×31cm

作家名	中島勝彦
材料・技法	水彩/ミクストメディア



作品名	「ワイナリー」
制作年	2018年
サイズ	33×45cm

コメント 細密な技法の創作版画です。作者は博物画に傾倒し研究を重ねて独自の技法を確立しました。銅板画、水彩画、ペン画、鉛筆画などを重ねたミクストメディア。これほどの技量の作家に出会えたことに感謝です。

作家略歴 中島勝彦 (なかじま・かつひこ/1941～) 佐賀県出身、1964年佐賀大学農学部卒、化学肥料会社勤務、関連会社常務取締役等歴任、2002年退職 在職中(1978年頃)からバードウォッチング、スケッチを始め、退職後、植物画・昆虫画、海外スケッチに取り組む。2004年より、新構造展入選・優秀賞、サムホール公募展優秀賞など受賞歴多数。版画家(入間市在住)

出品者 野原 宏さん

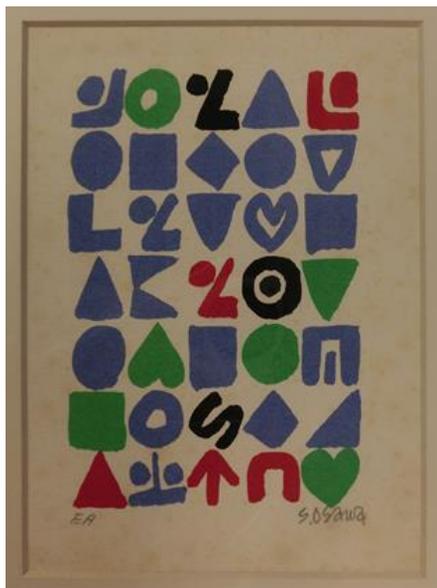


作家名	森田恒友
作品名	「野道」
材料・技法	紙・岩彩
制作年	不詳
サイズ	45 × 54cm

コメント 2月1日～3月22日まで  
埼玉近美で森田恒友展が開催さ  
れます。セザンヌから浴衣がけの  
絵画へとと言われる画風の変化も  
見どころの一つです。

作家略歴 **森田恒友**（もりた・つねとも/1881～1933年）埼玉県生れ。不同舎に通う。1906年東京美術学校西洋画科卒、研究科に進むが07年中退。美術文藝雑誌「方寸」創刊。「パンの会」結成。14～15年渡欧。15～17年二科会会員。16～20年日本美術院同人。22年春陽会創立会員。29年帝国美術大学主任教授。33年没、51歳。（出典 わ眼）洋画家

出品者 小松富士男さん



作家名	大沢昌助
作品名	「夏の朝」
材料・技法	シルクスクリーン
制作年	1983年(80歳)
サイズ	31.5 × 16.7cm

コメント 1928(25歳)現東京芸大 西洋  
画科(藤島武二教室主席卒業)  
1954～1970多摩美大教授 多岐にわたる  
表現・作風 変身と変貌 具象絵画のモダ  
ニズム エスプリ

作家略歴 **大沢昌助**（おおさわ・しょうすけ/1903～1997年）東京生れ。1928年東京美術学校西洋画科卒。42年二科賞。43年二科会会員。54年多摩美術大学教授。65年国際形象展で受賞。81年池田20世紀美術館で個展。91年練馬美術館で回顧展。95年中村彝賞受賞。東京で没、93歳。（出典 わ眼）洋画家、版画家

出品者 鈴木忠男さん



作家名	伊藤久三郎
作品名	「STARVATION」(飢餓)
材料・技法	キャンバスに油彩
制作年	1967年
サイズ	F3号 27.3×22cm

コメント 去年の川船正札市初日に買った。久三郎は4点ありこの小品が一番気に入って即決した。初日に行ったのは初めてだったが、開店すぐなのにすでに5,6人先客がいた。題名からすると丸は空っぽのお腹となるが、自分が見立てたのは丸が顔で、まわりの「へ」は目・鼻・口となる福笑いであった。今回持って行くのでよく見たら、アレ、サインがないのに気づいた。しかしよく見ると右下に銀色に隠れてサインと67が見えるようだが、意図的なのだろうか。

作家略歴 伊藤久三郎 (いとう・きゆうざぶろう/1906～1977年) 京都市生れ。1923年、京都市立美術工芸学校絵画科本科卒。28年上京して「一九三〇年協会」洋画研究所に学ぶ。38年二科の九室会に参加。41年二科会会員。36年新美術家協会に参加、前衛的活動を展開。戦後は京都に戻り、46年行動美術協会結成会員。56年アートクラブ会員。62～72年成安女子短期大学教授。京都で没、76年京都府美術工芸功労者。京都市で没、71歳。洋画家

出品者 福井 豊さん

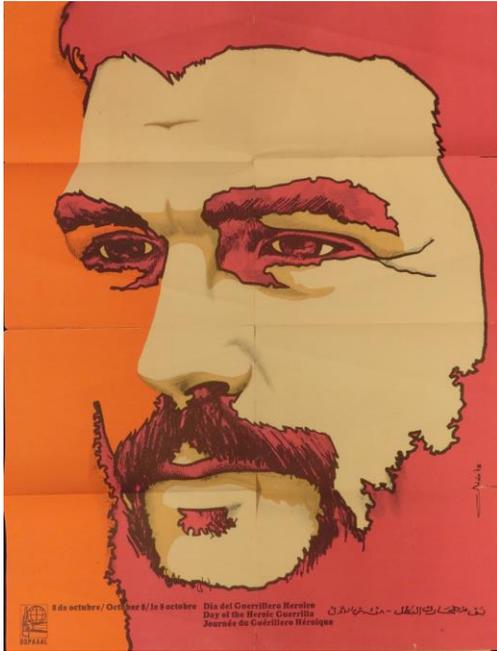


作家名	山岸主計
作品名	「雨のノートルダム寺院」
材料・技法	多色刷り木版・紙 (自画・自刻・自摺)
制作年	1928(昭和3)年10月17日
サイズ	34×42.5cm(紙寸)

コメント 文部省から欧米版画取調べの嘱託を受け1926年渡米、1928年9月渡欧した。パリ・シテ島ノートルダム大聖堂に昇り画面右近景に大きく怪獣像(グロテスク)を描いている。画面左遠景モンマルトルの丘にサクレクール寺院を望む。用紙左下部に山岸主計の縦書き名の透かしがある。

作家略歴 山岸主計 (やまぎし・かずえ/1891～1984年) 長野県生れ。15歳(1905年)ころ上京、木版彫刻師武藤秀吉に師事。読売新聞社に勤め、鏗木清方、竹久夢二の挿絵を彫る。黒田清輝率いる葵橋洋画研究所で美術を学ぶ。独立後、30代中盤より欧州取材。版画集「世界百景」その後、「日本百景」を完成。1984年没、92歳。洋画家、版

出品者 伊藤英一さん



作家名	不詳
作品名	「チェゲバラ ポスター」
材料・技法	シルクスクリーン
制作年	1978年
サイズ	約 78×58cm

コメント 有名なサルサバンド「オルケスタ・デーラ・ルス」さんから昨年入手しました。オルケスタ・デーラ・ルスさんは30年以上前からキューバと交わりがありこのポスターを所有されていました。

出品者 畝 一雄さん

作家名	松香
作品名	「美人図」
材料・技法	掛け軸
制作年	不明

コメント 40年程前購入。  
顔は一生懸命描いているが、服の色、肩の色が濃すぎる。



作家略歴 岡本松香（おかもと しょうこう）1900年～？  
大正・昭和期の日本画家、名・愛画家・岡本月村の娘、  
上村松園に師事、浮世絵、美人画を能くした、松園の代表作「娘」のモデルといわれる。

心を射抜く作品たち  
 コレクターの知られざる名品展  
 3月14日(土)~25日(水)10:00~19:00  
 場所: 柏市民ギャラリー 入場無料



柏市に本部を置く美術品コレクターの集まり「わの会」のコレクション展を開催します。わの会には、会社員をはじめ、公務員、医師など様々な職業の会員がおり、皆、本業の傍ら、熱心に美術品を収集し・研究し・楽しんでいきます。蒐集した作品は決して派手なものではありませんが、1点1点いぶし銀の魅力を放ち、美術館のコレクションとは違った趣があります。思いもかけぬ名品珍品、有名画家の隠れた一面を示す作品など、コレクターの情熱と愛情によって発掘された作品ばかりです。今回の展覧会では、会員秘蔵のコレクションのなかから、自慢の作品約70点を公開します

発行 : あーとわの会  
 発行日 : 2020年1月吉日  
 編集 : 実行委員 あーとわの会 放談会チーム  
 司会進行 堀 良慶  
 写真、編集、デザイン 井澤尚子  
 連絡先 : 事務局 (堀 良慶) 〒277-0871 柏市若柴1-358  
 TEL 04-7134-8293 ryokeihori@yahoo.co.jp